

とだの保育創造プロジェクト会議

中間報告会 ～報告～

戸田市
こども青少年部
保育幼稚園室

概要

開催日時 令和元年 5月 28日(火)
午後 1時 30分～午後 3時

開催場所 戸田市役所 5階 大会議室

参加者 43名(市内保育施設 施設長など)

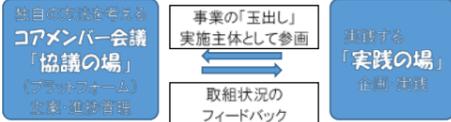
【プログラム】

- 1.平成 30年度取組成果の報告
- 2.今年度の取組を説明
- 3.学識経験者2名から講話
- 4.新しい取組(1園1チャレンジ)の説明



平成 30 年度の取組内容と成果を報告しました！

協議の場で議論し、その中から実施した取組(実践の場)の活動内容や成果について、協議の場のメンバーから報告しました。



協議の場

キックオフイベント及び 4 回の会議を開催し、プロジェクト全体や実践の場の進め方等について議論や状況確認等を行いました。



実践の場

保育所見学ツアー

15 園が参加して企画段階から検討を重ね、戸田市独自の保育所見学ツアーを 4 ルートで開催しました。ツアーには延べ 14 名が参加し、園見学・先輩保育士との交流会共に高い満足度となりました。



よつば保育園 阿部園長

合同就職面接会 & 説明会

18 法人 33 園が参加し、平成 29 年度の課題を基に、開催時期の変更や独自のブース配置、各法人の PR の充実等の企画改善案を検討して実施しました。33 名が来場し、6 名が採用内定しました。



グローバルキッズ 戸田駅前保育園 青柳園長

若手保育士交流会

協議の場での議論を基に、若手の交流・つながりづくりの機会として、“まあせんせい”の講演と、より良い保育へのヒントを得るためのワークショップを開催しました。市内在勤の若手保育士 19 名が参加しました。



笹目東保育園 油屋園長

今年度の取組予定を説明しました！

協議の場の中で議論した、既に立ち上げた実践の場の継続方針と新しい取組の方向性について、説明しました。

今年度から実施する取組
・保育ガイドライン
・1園1チャレンジ

その他の取組アイデアについても、継続的に検討を行っていきます。



笹目川保育園 佐藤園長

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
共有・報告の場			中間報告会									最終報告会	
協議の場		5/13 第4回	議題 ・2018年度の振り返り ・2019年度取組内容の検討 ・中間報告会の進め方の検討				5/13 第5回	議題(予定) ・実践の場の進捗状況の確認 ・2年間のプロジェクトの総括 ・次年度以降の活動計画の検討				6/13 第6回	議題(予定) ・実践の場の進捗状況の確認 ・2年間のプロジェクトの総括 ・次年度以降の活動計画の検討
実践の場【見学ツアー】			実践の場立ち上げ		その①							その②	
実践の場【合同就職面接会】					実践の場立ち上げ		就職フェアへの出席						
実践の場【保育ガイドライン】				実践の場立ち上げ								報告	
【1園1チャレンジ】			PRシート作成	エントリーシート作成								好事例の共有	
その他の取組												報告	

協議の場の学識経験者から講話を頂きました！

「東京成徳大学子ども学部のご紹介と園と家庭との連携から見る保育の質について」

東京成徳大学 子ども学部 坪井瞳 准教授

★市全体で見守り、成長の機会を与えてもらえると学校側も送り出しやすい

就職した学生が市全体で見守られ、研修等を通じて成長できる仕組みが整っていると、学校側としても学生を送り出しやすいとのことでした。また、学生もそういった情報には敏感だそうです。東京成徳大学では 1,2 年生の間に現場に出る機会がないため、市内で現場経験を積むことが出来れば有難いというお話も頂きました。



★「特別な支援」とは、「一人ひとりが必要とする時に、一人ひとりに行き届く丁寧な支援」

就学前教育の充実、経済的・文化的に困難な環境におかれた子どもたちにこそ、その後の人生のリスクを回避するために重要だそうです。家庭や地域社会における教育力が低下していると言われる中、保育・幼児教育者が育ちや家庭の多様な実態を知り、認めていくことが、個に応じた質の高い保育へとつながる、というお話を頂きました。

また、今後の保育・幼児教育については、家庭と地域社会、保育・幼児教育施設による総合的・連続的な幼児教育を行うことが重要で、特に保育・幼児教育施設には、家庭や地域社会の教育力を補完する役割や、家庭や地域社会の教育力再生・向上を支援する役割が求められているとのお話を頂きました。

保育の“質”を考える—戸田市の保育“いま”と“これから”—

十文字学園女子大学 幼児教育学科 横井紘子 准教授

★戸田市における保育の“質”のシステムモデル

近年、保育の“量”の拡充に力点が置かれてきた日本においても、保育の“質”を問う議論が高まっているものの、保育の“質”の定義には難しさがあります。保育の“質”を 6 段階に分解するモデルを紹介して頂き、とだの保育創造プロジェクトの位置づけを整理して頂きました。



★直接見えない・分かりづらい保育プロセスの“質”を言葉に

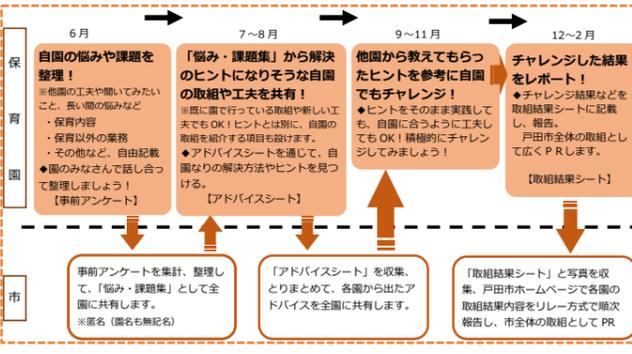
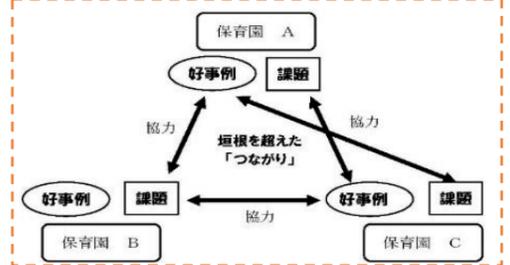
また、保育プロセスの“質”を評価するには、例えば「子どもたち落ち着いてきたね」といったような、保育の場に継続して居続けるからこそ感じられる・捉えられることを言葉にしていくことが重要なのではないか、それが保育の向上、保育の専門性を社会に発信していくことに繋がるのではないか、というお話を頂きました。また、子どもが「先生ごっこ」と名付けて事務作業をこなす保育士の真似をしていた、という例を引き合いに、保育の向上のためには、保育内容だけに留まらない魅力アップが必要、というお話を頂きました。

1園1チャレンジ「保育園つながりプロジェクト」を実施します！

企画内容 ～全園参加型の取組～

保育園では、様々な課題の解決に向けて日々工夫している一方、1 園では解決できないような課題もあり、そのような課題を園の垣根を越えて市全体で共有し、協力し合うことで、長年の課題も、他園の好事例を参考にすることで、解決の糸口が見つかるかもしれません。

その第一歩となるよう、1 園 1 チャレンジ「保育園つながりプロジェクト」を企画しました。



このプロジェクトは、左図の流れで実施し、12 月～2 月頃には、市内全園の「つながり」をイメージして、戸田市ホームページなどに写真や取組内容をリレーのように順番にアップし、戸田市全体の取組として PR します。

■期待される効果

- ①【自園】他園の取組から刺激を受け、保育士のスキルや質の向上につながる。
- ②【他園】取組の共有から、他園との交流のきっかけとなる。
- ③【全体】より働きやすく質の高い保育園を目指すことで、戸田市の保育の魅力アップにつながる。